



橋本駅周辺  
スイスイ作戦  
ニュース

7

第7号 / 平成23年3月

# ワークショップ最終回!

1月29日(土)、相原高校会議室において、第7回TDMワークショップが開催され最終回を迎えました。平成21年12月から実施してきたワークショップの経緯をおさらいし、その成果である「交通社会実験メニュー」と「PR計画」について最終確認を含めて意見交換しました。

これまでの社会実験メニュー案をもとに関係者と実施に向けた協議を進めてきた結果、ほぼ最終的なメニュー案が出揃ったのでワークショップで確認しました。交通規制や駅前広場のレイアウト変更、通勤時の座席指定バスの運行など、公共交通の利用を促進するとともに歩行者・自転車・公共交通・クルマが橋本駅南口にスイスイアクセスできるものになっています。

最後に、『前回ワークショップの意見をもとに市が展開するPRを地域としても協力し、市民や利用者への理解と協力を求めていく』『社会実験はまちづくりを考える契機である』『実験の効果検証結果を市民や利用者へフィードバックし、ハード的な施策も含めた将来的な橋本駅南口

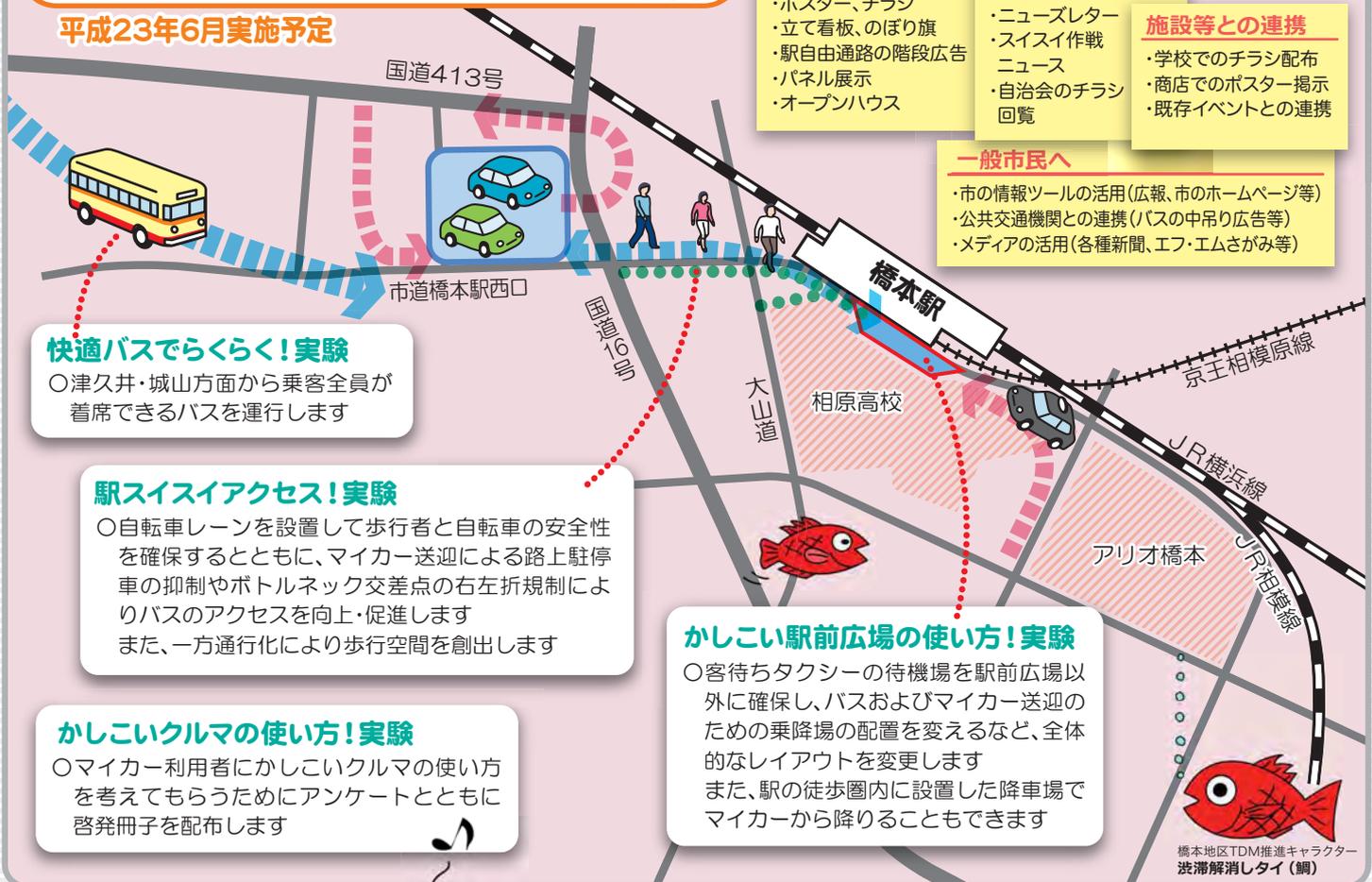
のまちづくりを考える際の材料とする』など、社会実験後の将来のまちづくりにつながる取り組みについて、貴重な意見が出されました。

これでワークショップは解散しましたが、今後も市民と市が協働で平成23年6月の社会実験に向けて、取り組むとともに、駅利用者の方々には実験へのご理解とご協力をお願い致します。



## 社会実験メニューとPR計画

平成23年6月実施予定



- 利用者へ**
  - ポスター、チラシ
  - 立て看板、のぼり旗
  - 駅自由通路の階段広告
  - パネル展示
  - オープンハウス
- 地域へ**
  - 地域説明会
  - ニュースレター
  - スイスイ作戦ニュース
  - 自治会のチラシ回覧
- PR計画**
  - 施設等との連携**
    - 学校でのチラシ配布
    - 商店でのポスター掲示
    - 既存イベントとの連携
  - 一般市民へ**
    - 市の情報ツールの活用(広報、市のホームページ等)
    - 公共交通機関との連携(バスの中吊り広告等)
    - メディアの活用(各種新聞、エフ・エムさがみ等)

**快適バスでらくらく!実験**  
○津久井・城山方面から乗客全員が着席できるバスを運行します

**駅スイスイアクセス!実験**  
○自転車レーンを設置して歩行者と自転車の安全性を確保するとともに、マイカー送迎による路上駐停車の抑制やボトルネック交差点の右左折規制によりバスのアクセスを向上・促進します  
また、一方通行化により歩行空間を創出します

**かしこいクルマの使い方!実験**  
○マイカー利用者にかしこいクルマの使い方を考えてもらうためにアンケートとともに啓発冊子を配布します

**かしこい駅前広場の使い方!実験**  
○客待ちタクシーの待機場を駅前広場以外に確保し、バスおよびマイカー送迎のための乗降場の配置を変えるなど、全体的なレイアウトを変更します  
また、駅の徒歩圏内に設置した降車場でマイカーから降りることもできます

橋本地区TDM推進キャラクター  
渋滞解消しタイ(鯛)



# 橋本TDMワークショップの歩み

平成21年12月から実施してきたワークショップの歩みを紹介します。

## 第1回 (H21.12)、第2回 (H22.1)

- 日常的な視点から橋本駅南口周辺の交通問題を抽出
- 「みち歩き」を実施して現地で問題点を確認
- 問題を解決するための課題を抽出



班ごとに「みち歩き」のテーマを決めて、みんなが現地で問題・課題を確認しました



## 第3回 (H22.3)、第4回 (H22.5)、第5回 (H22.8)

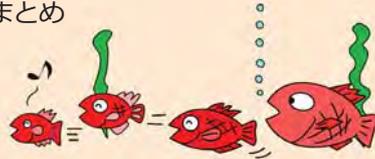
- 交通課題に対して橋本駅南口周辺がどうなればいいのか?という理想像を描き、そのために考えられる解決策を整理
- 実施すべき解決策を抽出して交通社会実験メニューを作成
- 実験による地元等への影響や課題、うまく実施するための課題への対応策を提案



班ごとに発表した解決策を1枚の模造紙にまとめ、そこに「実施したほうが良い解決策」や「自分たちで出来る解決策」はどんなものなのか、一人ひとりが必要と考える解決策をシールを貼って確認しました

## 第6回 (H22.10)、第7回 (H23.1)

- 交通社会実験を「的確に理解」してもらい「協力」してもらうための効果的なPR方法と、その具体的なやり方の提案
- ワークショップの成果のとりまとめ



事前に交通社会実験の周知や啓発を十分に行うことが重要であり、ワークショップで市民を交えて検討した実験であることをPRするべきとの意見がありました

## ワークショップの成果のとりまとめ

- 一 交通社会実験を通して橋本駅南口周辺がめざすこと
- 一 交通社会実験は緑区の玄関口にふさわしいまちづくりを考える契機である
- 二 橋本駅南口周辺の渋滞を緩和するだけではなく、歩行者、自転車、公共交通、クルマが安全かつ快適に利用できるまちをめざす
- 三 市民と行政が協働して実験をPRし、市民や利用者への理解と協力を求める
- 四 実験だけでは終わらない（効果検証をしっかりと行い、将来のまちづくりにつながる実験後の取り組みが重要である）

7回にわたってお届けしましたスイスイ作戦ニュースは今号で最終回です。交通社会実験に対するワークショップ参加者の熱い思いが伝わったでしょうか？これから、みなさんの思いが形になって橋本駅南口周辺の渋滞解決に向けて動き出していきます。その取り組み状況は、また別の方法でみなさんにお伝えしていきますので、楽しみにしてください！

ご愛読ありがとうございました!!

